

6. 身体障害者福祉センター

週	課題（ねらい）	実 習 内 容	段階	指導上配慮すること・必要な価値・知識・技術（その他、参考となるテキスト・教材等）
第1週	現場の動きと施設の役割を知る。 ①業務の理解 ②専門職の役割	施設が運営している他の部門を含めた見学実習を通して、施設の業務の理解を図る。 専門職の利用者への支援を見学し、専門職の業務を知る。	職場 職場	施設の種別、関係する制度に関して確認してもらう。 OT、PT、STといった専門職種の業務についての知識を事前に調べておく。
第2週	施設の活動（訓練）に参加し、職員のかかわり方を学ぶ。 ①施設の利用の流れを理解する。 ②専門職及び施設の地域での役割を考える。	訓練に入るまでの流れを、利用者を通して説明し、ソーシャルワーカーの動きについて学んでもらう。 施設等への訪問同行を通して、他機関との連携について考えてもらう。	職種 職場	施設におけるソーシャルワーカーが必要とする視点についての理解。 高次脳機能障害についての理解を深めるため、参考資料に目を通してもらう。 実習中に研修事業に参加。
第3 4週	利用者の理解と個別支援の考え方について学ぶ。 ①面接の体験 ②個別支援とは	実際に利用者への面接を行い、アセスメントを経験する。限られた時間で必要な情報を聞き取ることを目指す。 アセスメント等を参考にして個別支援計画を作成してみる。	SW	職員の面接場面に立ち会い、面接方法を学ぶ。 必要な情報を聞くだけでなく、情報提供も合わせて行っていくための社会資源について調べる。
	施設における相談と支援について ①現場におけるソーシャルワーカーの役割とは ②連携とは何か	ここまでの実習を通して見えてきたソーシャルワーカー像について考えてみる。 他機関との連携について再度確認する。	SW	自分なりのソーシャルワーカーとしての動き方を思い描く。 より良い支援を行っていくために自身に何が足りないか、また、何が必要かについて知る。 事例を通して連携を考える。